

線形代数学第2 - 期末試験問題 -

情報システム工学科1年生

平成18年度後期 - 2007.1.31 -

1. 行列 A の固有値が $\lambda_1 = 1, \lambda_2 = -1$, 固有ベクトルが $x_1 = [1, -1]^T, x_2 = [0, 1]^T$ であるとき, A^k を求めよ。
2. 各行の要素の和が1となる 3×3 行列を書き下し, $\lambda = 1$ が固有値であることを示せ。また, その固有ベクトルを求めよ。
3. 2次元ベクトル $x(n) = [x_1(n), x_2(n)]^T$ が次式により更新される。

$$x(n+1) = Ax(n), \quad A = \begin{bmatrix} 1 & 0 \\ -1 & 0.5 \end{bmatrix} \quad x(0) = \begin{bmatrix} 1 \\ -1 \end{bmatrix}$$

- (a) $x(2)$ を求めよ。
 - (b) $n \rightarrow \infty$ としたとき, $x(n)$ はどうなるか。
4. 行列 A の固有値が $\lambda_1 = 1, \lambda_2 = 2, \lambda_3 = 3$ であるとき,
 - (a) A の行列式を求めよ。
 - (b) A のトレース (対角要素の和) を求めよ。
(参考) 固有値と行列式及びトレースの関係を求める必要はなく, これらの関係に固有値の数値を代入して計算する。
 5. 行列 A と B が同じ固有ベクトルを持ち, 固有ベクトルを列ベクトルとする行列 S によって, $A = S\Lambda_1 S^{-1}, B = S\Lambda_2 S^{-1}$ と表されるとき, $AB = BA$ となることを証明せよ。また, 次の A に対する B の例を求めよ。但し, B の固有値は適当に与えるものとする。

$$A = \begin{bmatrix} 1 & 0 \\ 2 & -1 \end{bmatrix}$$

6. 次の微分方程式を解け。また, この微分方程式の解は安定であるか, 不安定であるか示せ。

$$\frac{d^2 \mathbf{u}(t)}{dt^2} = \begin{bmatrix} 1 & 0 \\ -1 & 2 \end{bmatrix} \mathbf{u}(t), \quad \mathbf{u}(0) = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix}, \quad \frac{d\mathbf{u}(0)}{dt} = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \end{bmatrix}$$

7. 以下の性質を証明せよ。
 - (a) $A = A^H$ であれば, 任意の複素ベクトル x に対して $x^H Ax$ は実数となる。
 - (b) $A = A^H$ を満たす行列の全ての固有値は実数である。
8. 複素ベクトル $x = [1+i, 1-i]^T$ と $y = [1, i]^T$ について
 - (a) 各々の長さ (ノルム) を求めよ ($\sqrt{\text{数値}}$ の形でよい)。
 - (b) x と y の内積を求めよ。
9. ベクトル $a = [1, 2]^T$ に行列 A を掛けることにより, a の $x_1 = [1, 0]^T$ 方向の成分 (*) を2倍, $x_2 = [0, 1]^T$ 方向の成分 (*) を-1倍したい。 A を求めよ。(参考) (*) は a から x_1 及び x_2 上への射影に相当する。(ヒント: スペクトル定理)